

別府警察署協議会

第4回会議の開催状況

第1 開催月日

令和7年2月14日（金）

第2 出席者

公安委員

協議会 委員 8名

警察署 署長、副署長、総務官、刑事官、総務課長、生活安全課長、
交通課長、警備課長 8名

第3 議事の概要

1 業務説明

警察署から

- ・管内の治安情勢及び業務推進状況について説明がなされた。

2 諮問事項の説明

警察署から、諮問事項「高齢者の安全対策について」に関し、

- ・令和6年の高齢者の交通事故発生状況及び交通安全対策
- ・令和6年のSNS型ロマンス詐欺等の被害発生状況及び被害防止対策について説明がなされた。

3 委員からの質疑・意見等

(1) 業務推進状況について

ア 万引きの発生状況について

委員から「昨年、管内で万引きが増加しているとのことであるが、万引きが多く発生している場所や何か特徴的なことはあるか」旨の質問がなされ、警察署から「大規模商業施設やドラックストアなどからの届出が多い状況である。ただし、これら店舗は防犯カメラを多く設置しており、店舗が防犯カメラで万引き被害を事後確認の上、被害を届出ること、他の施設よりも届出件数が多くなっている面もあると考えており、他の施設では万引きの発生が少ないとの判断はしているわけではない。また、特徴としては高齢者による万引きが多い傾向がある」旨の回答がなされた。

イ 交通事故防止対策と働き方改革について

委員から「交通事故防止のため、街頭活動など多くの対策をしてもらっているが、一方で職員数には限りがあるため、担当職員の労働時間が増加していくのではないかと心配している。働き方改革を踏まえて、どのように対応しているのか」旨の質問がなされ、警察署から「まず、特定の職員に業務負担が偏らないように全署員で横断的に協力して業務を進めている。さらに警察本部や隣接警察署と協同して街頭活動をすることも行っている。また、職員の勤務については、街頭活動等の勤務時間に応じて勤務時間を変更することや休暇の取得促進などにより働き方改革や過重労働対策を実施している」旨の回答がなされた。

ウ 特殊詐欺等防止対策について

委員から「特殊詐欺認知件数が増加しているとの説明を受けたが、警察署をはじめ各種機関による多くの被害防止対策がなければ、もっと多くの被害が発生していたのではないかと思う。実際、私たち市民の日常会話において、SNS型ロマンス詐欺等の手口やキーワードが聞かれるほどに浸透している。警察署の活動が、被害防止に効果を発揮していることが分かる数値等があると良いと思う」旨の意見がなされた。

エ 協力体制の継続について

委員から「別府市としては、今年度も警察署と別府市長がタイアップしてSNS型ロマンス詐欺等の被害防止広報番組を作成したが、来年度以降も引き続き協力して市民を守る対策を続けたい」旨の意見がなされた。

(2) 諮問事項に対する答申について

警察署協議会から警察署長に対し「高齢者に対する効果的な交通安全教育として、高齢者が自分の反射神経や運動能力の衰えを体感、認識することができる安全教育を推進すること」及び「SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺等の新たな詐欺の手口について、今後もその手口やキーワードなどを市民へ周知すること」旨の答申がなされた。